

新元号「令和 れいわ」に決定

政府は2019年4月1日午前11時40分過ぎ、西暦645年に始まった大化から248番目となる新元号「令和 れいわ」を発表した。

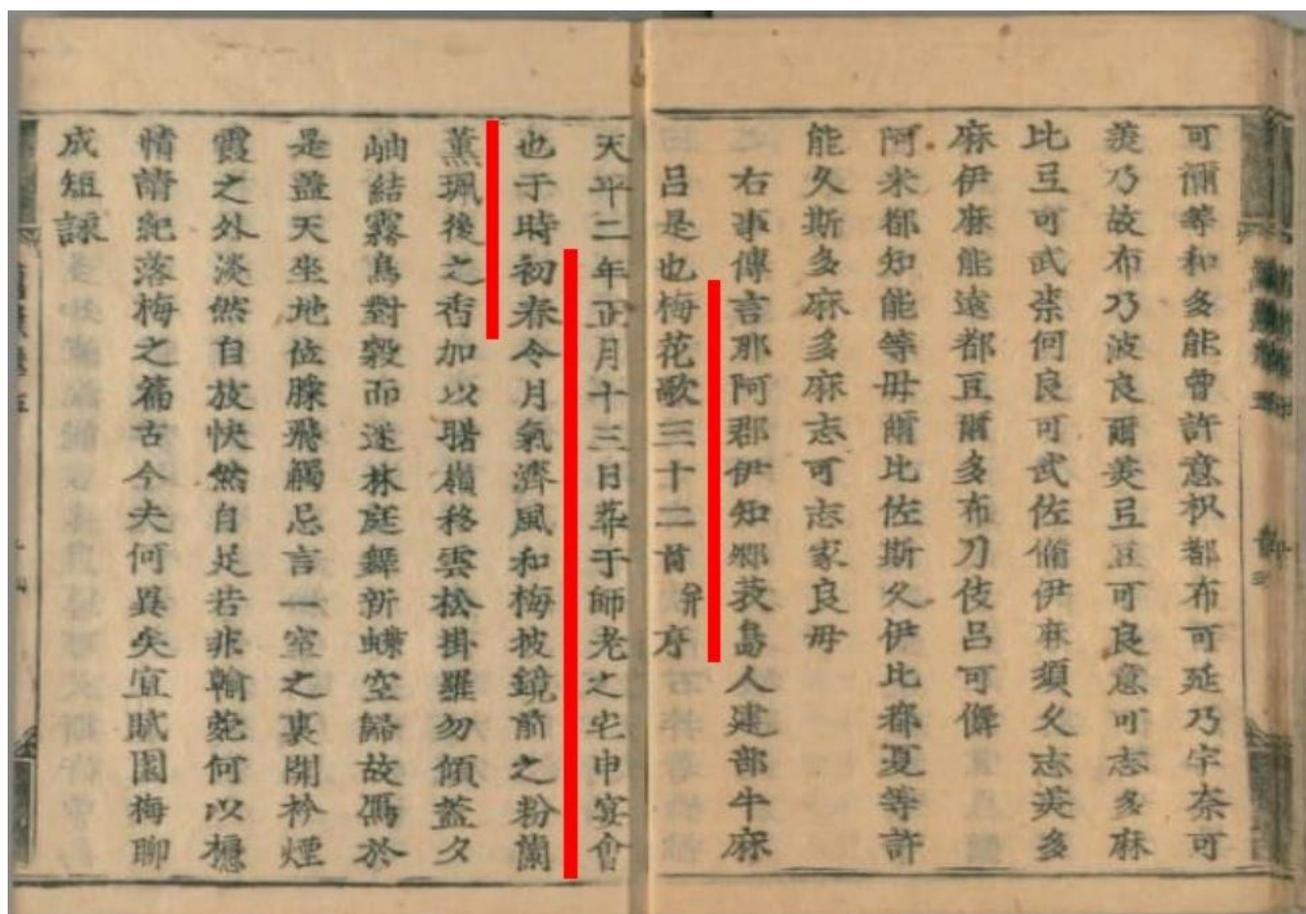
天皇の退位に伴う改元は憲政史上初めてとなる。新元号は5月1日より施行される。



典拠は、中国の古典ではなく、日本最古の和歌集である万葉集の巻五、梅花（うめのはな）の歌三十二首并せて序に含まれる以下の和歌から「令和」が決定。

検索：国立国会図書館 萬葉集. 巻5-6

コマ番号 15/90



引用文

初春令月、気淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香

書き下し文

初春（しよしゅん）の令月（reigetū）にして、気淑（きよ）く風和（かぜやわら）ぎ、梅は鏡前（きょうぜん）の粉（こ）を披（ひら）き、蘭（らん）は珮後（はいご）の香（こう）を薫（かお）らす

現代語訳

天平二年(730年)正月十三日に、大宰師（(だざいのそち／だざいのそつ 大宰府の長官)の相伴旅人（おとおもの たびと）の邸宅に集まりて、宴会を開く。

時に、初春のよき月夜（十三夜）（令月）にして、空気は澄んでよく風は爽やかに、梅は鏡の前の美女が装う白粉の蓋を開けたように花開き、梅の香りは、通り過ぎた女性の匂い袋の残り香のように漂っている。